

2027年３月期　第２四半期連結決算
補足説明資料

証券コード 4667

2026年11月11日

アイサンテクノロジー株式会社



- 会社概要 05
- 事業概要 07
- 決算サマリー 08
- セグメント別概況 09
- 売上分析 10
- 受注残高 12
- B/Sサマリー 13
- 通期目標の達成状況 14
- 中期経営計画の進捗 15
- 経営トピックス 17
- 株主還元　IR活動報告 24
- 参考資料 30

未来の社会インフラを創造する

To Advance Society

街、都市、国土。人々が生活するうえで欠かすことのできない社会インフラ。それらの整備は「測る」ことから始まります。
アイサンテクノロジーは、時代の最先端システムを融合したソリューションテクノロジーのアップデートをもって
「測る」を支え、未来の社会インフラの創造に貢献します。







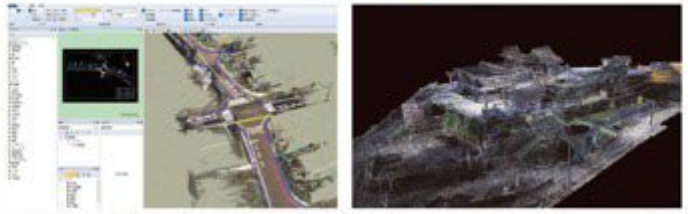






AIST

WingEarth









WingNeo INFINITY



AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD

経営理念

社是

知恵　・・・ それは無限の資産

実行　・・・ 知恵は実行して実を結ぶ

貢献　・・・ 実を結んで社会に貢献

経営理念

知恵で地理空間情報のイノベーションを実行し
社会資本の豊かな発展に貢献する

行動指針

- お 客 様　　顧客満足度の追求
- 社　　員　　豊かな創造力と自主性の発揮
- 株　　主　　バランス経営による安定した利益還元
- 地域社会　　事業と雇用創出、納税



Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

会社概要

商号

アイサンテクノロジー株式会社
（英訳名：AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD.）

代表者

代表取締役社長　加藤 淳

設立

1970年8月

資本金

19億2,251万円（2026年4月1日現在）

上場証券取引所

東京証券取引所　スタンダード市場　証券コード4667
名古屋証券取引所　メイン市場

連結グループ従業員数

220名（男性164名女性56名）うち契約社員、嘱託社員（13名）を含む。
（2026年4月1日現在）

事業内容

1. 公共測量・登記測量・土木建設業向けCADシステムの設計・開発・販売及びサポート業務
2. 計測機器・モービルマッピングシステム・自動運転システムの販売
3. 三次元地図データベース整備のためのソフトウェア研究開発業務
4. 三次元データ計測業務及び高精度三次元地図データベース作成の請負業務
5. 自動運転に係るコンサルティング事業

グループ会社

株式会社スリード
株式会社三和
A-Drive株式会社
有限会社秋測

主要取引銀行

三菱UFJ銀行、名古屋銀行、あいち銀行、楽天銀行

主要取引先

○公共セグメント
三菱電機株式会社、富士通JAPAN株式会社、官公庁、学校、
研究機関、測量・土木建設コンサルタント、司法書士、土地家屋調査士、
建設業、測量機器メーカー、計測機器メーカー、測量機器販売店
○モビリティーセグメント
株式会社ティアフォー、三菱電機株式会社、KDDI株式会社、
岡谷鋼機株式会社、ダイナミックマッププラットフォーム株式会社、
損害保険ジャパン株式会社、自動車メーカー、地図関連企業各社

主要法人株主

三菱電機株式会社、KDDI株式会社、岡谷鋼機株式会社、
三菱電機デジタルイノベーション株式会社　(2026年3月31日現在)

主な出資先企業

株式会社ティアフォー、ダイナミックマッププラットフォーム株式会社、
株式会社プロドローン、株式会社マップフォー、株式会社ミックウェア

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

会社沿革

AISAN TECHNOLOGY HISTORY

アイサンテクノロジー株式会社〈会社沿革〉

● 事業・経営
● 製品・技術

1970 ● 8月 総合事務機器販売を目的として、名古屋市昭和区長戸町六丁目23番地に株式会社アイサンを設立

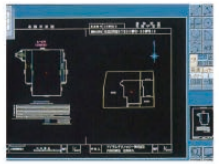
1984 ● 5月 測量CADシステム「WING」発売

1989 ● 6月 測量CADシステム「HYPER WING」発売



1992 ● 8月 商号を「アイサンテクノロジー株式会社」に変更

1994 ● 12月 測量CADシステム「Pro Wing」発売



1997 ● 4月 日本証券業協会に株式を店頭登録

2000 ● 7月 測量CADシステム「Wingneo」発売

2003 ● 10月 三菱電機株式会社他に対し、第三者割当増資実施

2009 ● 3月 MMS初号機としてS220を導入

2010 ● 12月 株式会社スリード（現連結子会社）を設立

2011 ● 3月 測量CADシステム「Wingneo®INFINITY」発売

2013 ● 10月 「ITS世界会議　東京2013」に出展し最先端位置情報技術を発表

2016 ● 3月 株式会社プロドローンへ出資

● 6月 ダイナミックマップ基盤企画株式会社（現ダイナミックマッププラットフォーム株式会社）を共同設立

2017 ● 3月 大規模点群高速編集ツール「Wing Earth」発売



2017 ● 8月 岡谷鋼機株式会社、株式会社ティアフォーとの業務提携

● 岡谷鋼機株式会社との資本提携

● 9月 株式会社ティアフォーへ出資

2018 ● 8月 KDDI株式会社と資本業務提携

2019 ● 2月 損害保険ジャパン株式会社、株式会社ティアフォーと「Level IV Discovery」の共同開発に向けた業務提携を発表

2021 ● 10月 株式会社三和の全株式を取得し、子会社化

2022 ● 2月 損害保険ジャパン株式会社、株式会社ティアフォー、東京大学とレベル4自動運転サービス向け「自動運転システム提供者専用保険」を開発

2022 ● 4月 東京証券取引所市場の再編で東京証券取引所スタンダード市場に移行

2022 ● 7月 株式会社ティアフォー開発の「HDR車載カメラユニット」販売開始

● バックパック型3次元マッピングシステム「SEAMS（シームス）」発売



2023 ● 1月 次世代TSコントローラーAndroidアプリ「LasPort」発売

● 2月 三菱商事株式会社と共同で子会社、A-Drive株式会社を設立

● 11月 自動運転小型EVバス「ティアフォーMinibus」を導入、全国各地で運行開始



2024 ● 1月 有限会社秋測の株式を取得し、子会社化

● 3月 ヤマハ発動機株式会社と低速モビリティの販売店契約を締結



● 8月 点群データから平面図の作成を1つのアプリで完結する点群重畳CAD「ANIST」発売



2024 ● 10月 名古屋証券取引所メイン市場への重複上場

2025 ● 1月 長野県塩尻市で特定自動運行（自動運転レベル4）の許可を取得し、運転席にドライバーを配置しない自動運転レベル4の公道走行を実施

● 多摩大学との「包括連携協定」締結

● 2月 JR東日本とモビリティに関する協業を開始

● 【東京都庁-新宿駅】自動運転バス通年運行を開始

● 3月 測量CADシステム「Wingneo®INFINITY 2026」発売

● 4月 長崎県・長崎市との立地協定締結



● 5月 長野県塩尻市内で自動運転バスの定期運行を開始

● 8月 「長崎DXラボ」開設

● 9月 三菱電機株式会社「xAUTO®」の自動運転車両開発に協力

2025 ● 9月 マップフォーへの出資と業務提携契約の締結

● 10月 大阪営業所を開設

● 12月 自動運転バスの運行を支える遠隔監視拠点「オートドライブリモートセンター」を開設



2026 ● 2月 【京都府・精華町】複数ロボットが同一空間で動く社会に向けた実証 ～分散協調運行により安全な協調走行を支援～

● 3月 測量CADシステム「Wingneo®INFINITY 2027」発売

沿革の詳細はこちらから

下記のQRコードよりご覧いただけます。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

事業概要



事業の詳細は**アイサンテクノロジーWEBサイト**をご覧ください：https://www.aisantec.co.jp/ir/management/business/#business-segment

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

第２四半期決算サマリー

（単位：千円）

2027年３月期 第２四半期業績ハイライト

	2027年３月期 （2026.４.1～2026.9.30）	2026年３月期 （2025.４.1～2025.9.30）	前年同期比 （増減額）	前年同期比 （増減比率）
売上高	2,980,404	3,110,885	△130,480	△4.2%
営業利益	6,348	206,677	△200,329	△96.9%
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△67,291	177,326	△244,617	―

- **公共セグメント**においては、前中間連結会計期間に大型案件を受注していた事による反動もあり、売上および各利益項目は前年同期比で減少しております。
- **モビリティ・DXセグメント**を中心に、収益計上が年度末に集中する傾向は年々強まっており、当連結会計年度においても第４四半期に大きく売上高が伸長する見込。
- 保有する投資有価証券の時価が下落したため、**約78百万円の特別損失(投資有価証券評価損)を計上**。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

事業セグメント別概況

（単位：千円）

公共セグメント	2027年３月期 （2026.４.1～2026.9.30）	2026年３月期 （2025.４.1～2025.9.30）	前年同期比 （増減額）	前年同期比 （増減比率）
売上高	1,700,043	1,846,692	△146,648	△7.9%
セグメント利益	395,380	479,783	△84,403	△17.6%

前連結会計年度において大型案件があった反動で減収減益。

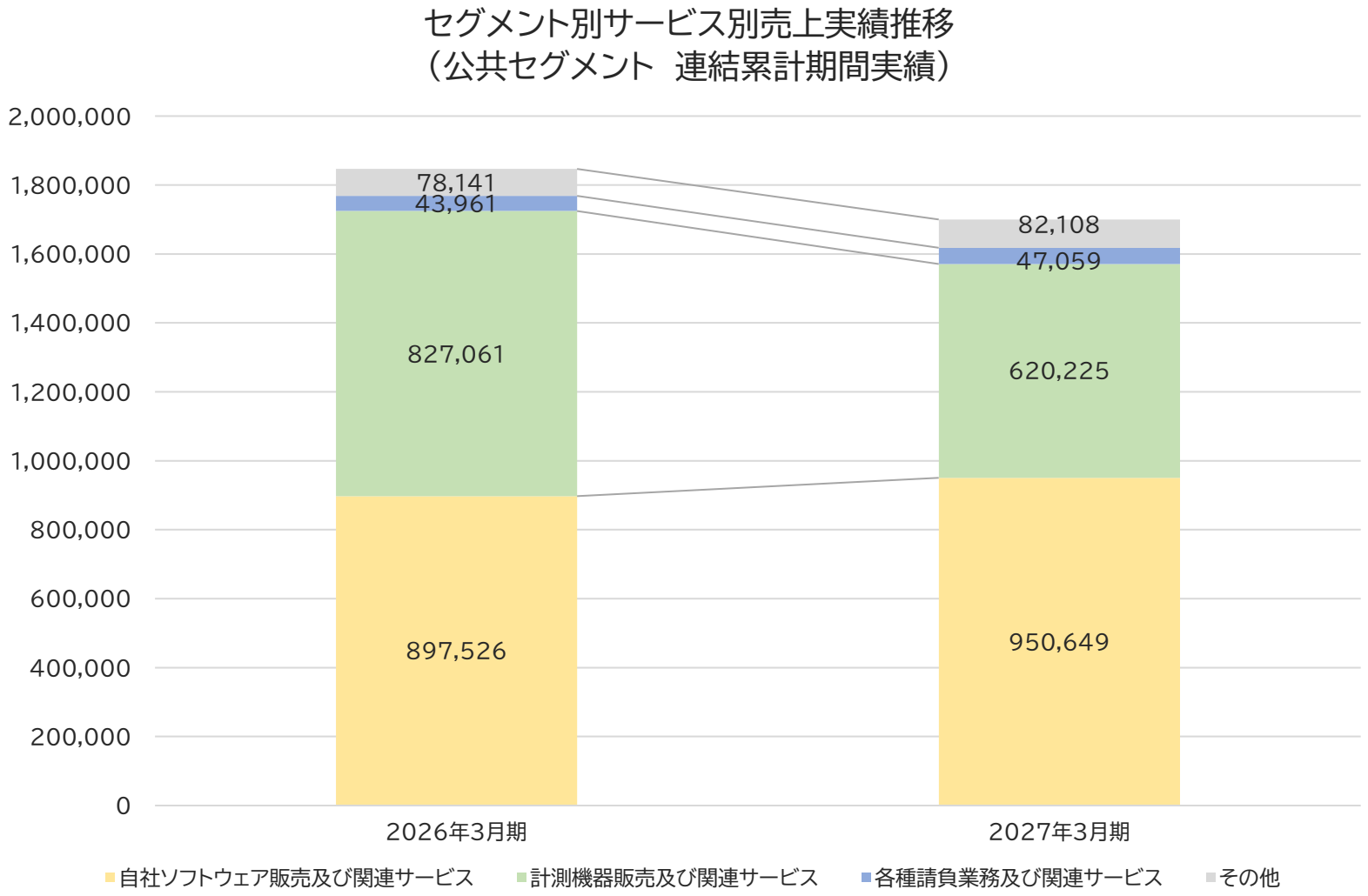
モビリティ・DXセグメント	2027年３月期 （2026.４.1～2026.9.30）	2026年３月期 （2025.４.1～2025.9.30）	前年同期比 （増減額）	前年同期比 （増減比率）
売上高	1,277,922	1,259,330	18,592	1.5%
セグメント損失(△)	△181,895	△95,386	△86,508	—

地方自治体を中心とした、自動運転の社会実装サービスや三次元地図作成、自動運転車両の構築等の受託案件について、収益計上が年度末に集中する傾向は前期同様。新事業の先行投資のためコストが増加。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

売上分析

公共セグメント 売上実績推移



各種請負業務及び関連サービス

前年同期比 約 7.0% 増 ↑

子会社の株式会社三和を中心とする測量請負事業は概ね同水準。

計測機器販売及び関連サービス

前年同期比 約 25.0% 減 ↓

前連結会計年度で計上した大型案件の反動により売上減少。

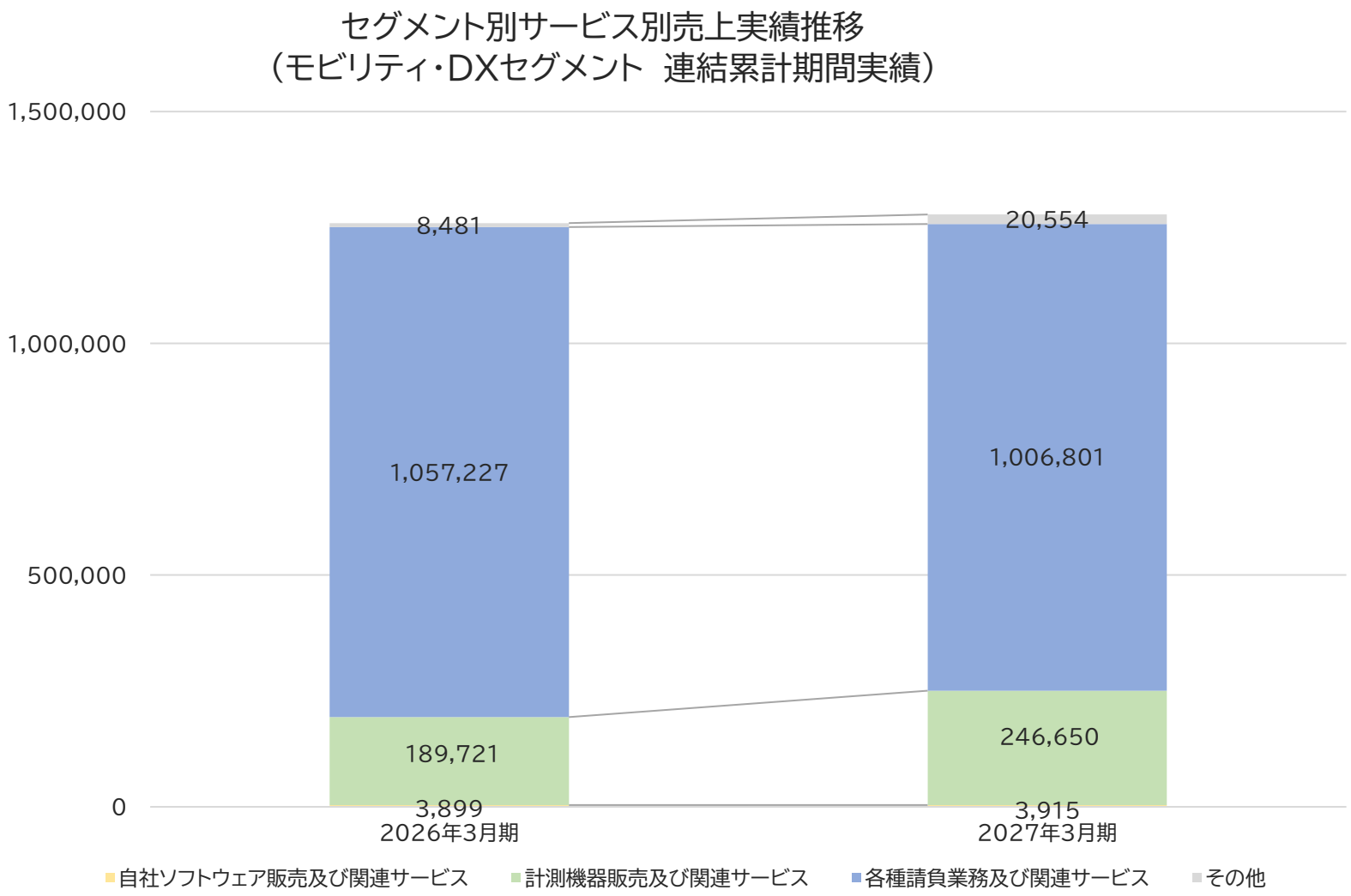
自社ソフトウェア販売及び関連サービス

前年同期比 約 5.9% 増 ↑

自社ソフト「ANIST®」の販売は今期も好調。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

モビリティ・DXセグメント 売上実績推移



各種請負業務及び関連サービス

前年同期比 約 4.8% 減

案件の納期が年度末に集中する傾向がより強まっている。社会実装事業のニーズは引き続き好調に推移。

計測機器販売及び関連サービス

前年同期比 約 30.0% 増

MMS機器の納品が集中したため。

1台当たりの単価が大きく、納品のタイミングにより売上計上の変動が大きいビジネスモデルとなっている。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

受注残高

請負契約に係る受注残高

（単位：千円）

	公共セグメント			モビリティ・DXセグメント			合計		
	前連結累計期間	当連結累計期間	対前期増減率（%）	前連結累計期間	当連結累計期間	対前期増減率（%）	前連結累計期間	当連結累計期間	対前期増減率（%）
計測機器販売及び関連サービス	－	－	**－**	57,780	138,996	**140.6%**	57,780	138,996	**140.6%**
各種請負業務及び関連サービス	52,846	73,253	**38.6%**	1,341,621	1,232,960	**△8.1%**	1,394,467	1,306,214	**△6.3%**
合計	52,846	73,253	**38.6%**	1,399,401	1,371,957	**△2.0%**	1,452,248	1,445,210	**△0.5%**

- **受注残高の概況**　前年同期より**0.5%** の減少となりました。本資料は、**各取引先と請負契約を締結した案件のうち、第３四半期以降に売上計上を予定している受注残高**のみ記載しており、商談が進んでいても、**未契約の案件は算入していません**。
- **受注残高の内容**　MMSを用いた三次元計測・解析業務の請負、各種測量業務、三次元計測・解析業務の請負、高精度三次元地図データベース構築業務請負、自動運転システム構築、自動運転の実証実験請負業務等の受注残高が含まれています。
- **経営方針と課題**　今後も案件獲得活動を引き続き強化し、受注残高の拡充を目指します。受注残高は翌四半期以降にわたり売上が見込まれることになります。一方で納期管理および適切なリソース配置を通じた収益性の確保が経営課題となります。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

B/Sサマリー

（単位：千円）

貸借対照表結

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	6,778,895	負債合計	3,209,319
固定資産	4,884,975	純資産合計	8,454,550
資産合計	11,663,870	負債・純資産合計	11,663,870

自己資本比率
71.3%

前連結会計年度末と比較し、子会社A-Drive株式会社で実施したプロジェクト融資は案件終了に伴い返済。借入金は大幅に圧縮されている。

借入金の返済を主な要因として負債が減少している一方、保有している有価証券の簿価が上昇し、バランスシート全体的には規模が増大している。自己資本比率は上昇しており、財務の健全性が高まっている状態。

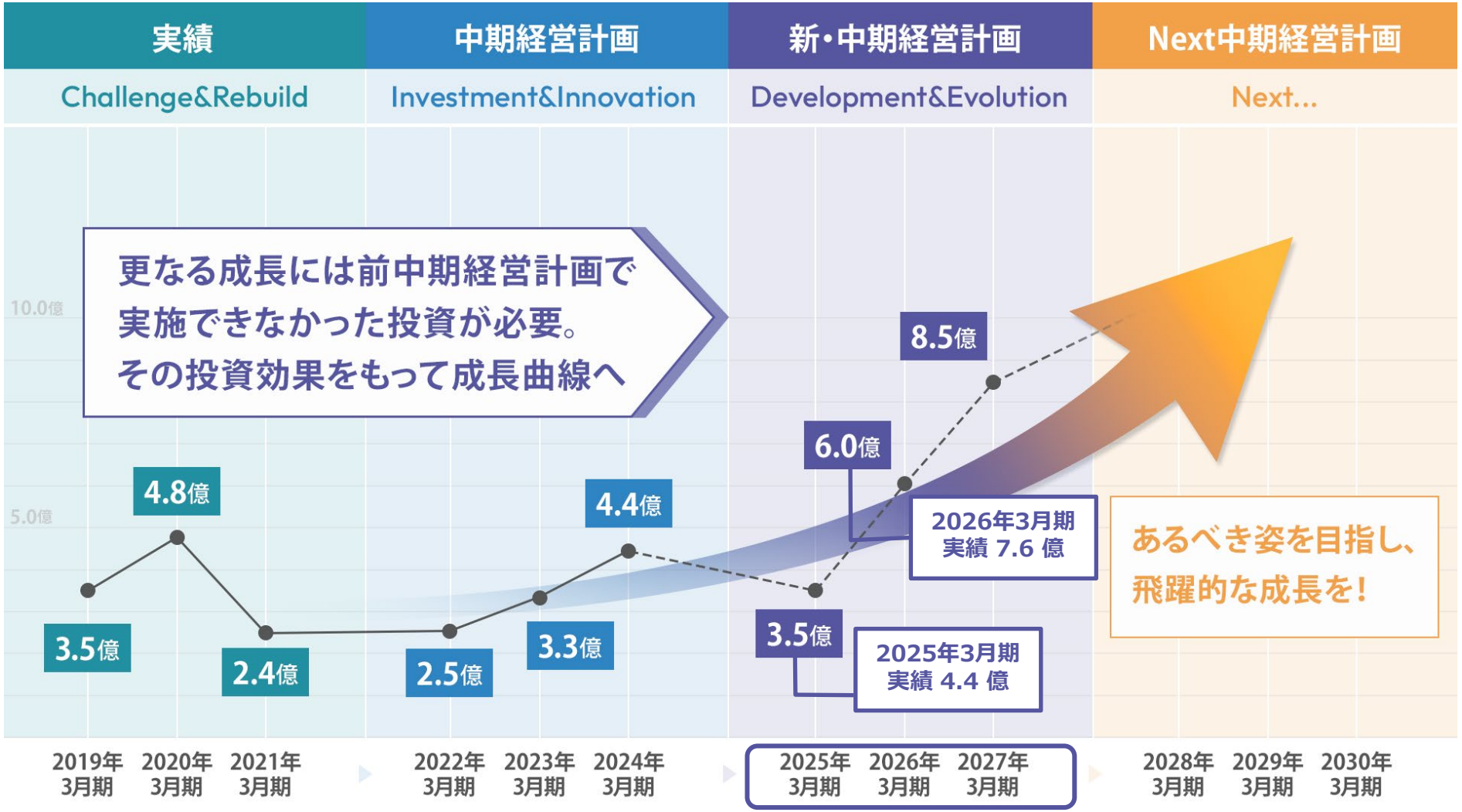
Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

通期目標の進捗状況

	❶ 売上高	❷ 営業利益	❸ 売上高営業利益率
目標	80億円	8.5億円	10. 6%
	• 前年比 +5.4% 目標。 • 公共事業が安定成長、モビリティ・DXでさらなる飛躍。 • 市場動向に連動し、積極的な事業展開を加速。	• 前年比 +11.8% 目標。 • 当社グループ過去最高益を狙う積極投資と事業成長。 • 業績計画の進展に伴い、先行投資も継続。	• 前年比 +0.6pt 改善目標。 • 投資強化しながらも収益構造の強化・効率化を実現。 • 前期同様、10%の営業利益率を想定。
結果	29億円	6百万円	0. 21%
	• 通期目標に対する進捗率： 37.3% • 前年同期比 △4.2% • モビリティ・DXを中心に収益計上が年度末に集中する傾向が年々強まっている。	• 通期目標に対する進捗率： 0.7% • 収益計上が年度末に集中する傾向は今期も継続。	• 通期目標である「10.6%」に対し、現状未達。 • 利益率の高い自社製品やサービスの推進、原価低減を実施予定。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

中期経営計画の進捗



※当社グループが定めている経営方針・経営戦略等につきましては、2024年５月10日に開示した中期経営計画から重要な変更はありません。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

中期経営計画の進捗

中期２年目を終えての進捗と３年目を迎えての見通し

中期経営計画におけるKPI

売上高	80億円	売上高営業利益率	10%	1株当たり配当金	37円	連結従業員数	235名
営業利益	8.5億円	ROE	8.0%	DOE（株主資本配当率）	3%前後	男性育児休暇	100%

３か年の中期経営計画は２年目を終え、最終年度の目標達成に向けた強固な事業基盤が整いつつあります。
最終年度である2027年３月期のKPI達成へ向け、新卒およびキャリア採用による人財確保ならびに設備や研究開発への積極的な投資を継続して実行してまいります。

【公共セグメント】
これまでに構築した安定的な事業基盤を背景に、製品の企画・開発力をさらに強化してまいります。顧客ニーズに応える製品・サービスを迅速かつ安定的に提供する体制を構築するとともに、グループ各社との連携をより緊密にし、グループ全体の収益性向上に努めてまいります。

【モビリティ・DXセグメント】
新たな成長領域であるDX事業の推進に向け、準備を進めてきた各種取り組みをさらに加速させてまいります。同分野における専門人財の育成や最新技術の研究開発を推進するとともに、自治体やパートナー企業との連携体制をより強固なものとし、中長期的な収益基盤の構築を図ってまいります。

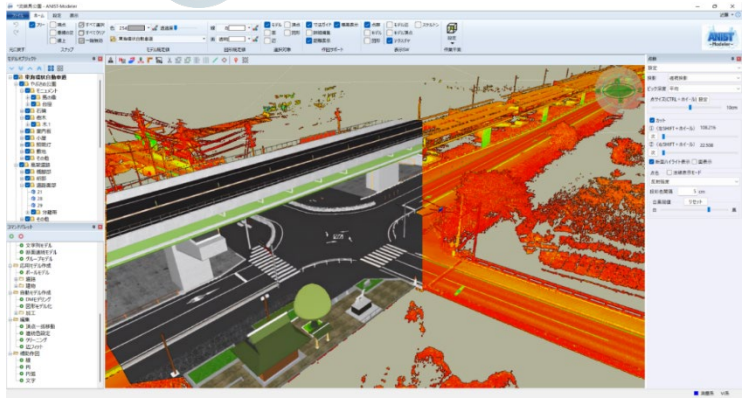
中期経営計画の詳細につきましては、当社WEBサイトをご覧ください。https://aisan-corp.com/ir/management/vision/

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

経営トピックス・ハイライト（公共セグメント）

● 新製品「ANIST-Modeler」9月に発売

ANIST-Modeler



当社は、2026年9月14日(月)に、三次元モデリングソフトウェア「ANIST-Modeler」を発売しました。

点群データや既存の図面・流通データを活用し、地表面や道路、構造物の現況を三次元モデルとして作成するソフトウェアです。平面図作成に特化した「ANIST®」の技術を継承しており、三次元モデルを効率的に作成できます。

土木・建設分野をはじめ、三次元データの活用が進む一方、現況を三次元モデル化するには専門知識や多くの時間が必要でした。「ANIST-Modeler」は、モデリング専門会社でなくても三次元モデルを容易に作成できるため、既存ユーザーに加え、他業種からも多くのお問い合わせをいただいております。

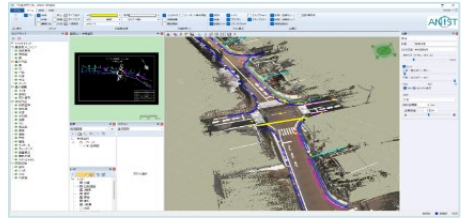
▷ 詳細はこちら

● 「ANIST®」 ボールド点群テクノロジーに関わる特許を取得

当社は、三次元点群データから平面図を作成するCADシステム「ANIST®」に搭載している独自技術「ボールド点群テクノロジー」について、特許（特許第7898115号）を取得しました。
本特許技術は、点群データの「点」を視点方向に相対する「円」の平面図形で実寸表示する独自技術です。
地形や構造物を立体的かつ直感的に把握しやすくすることで、作図作業の効率化を実現します。

▷ 詳細はこちら

ANIST



「ANIST®」は、発売から2年を迎えた今期も、ハンディスキャナとのセット販売や全国各地での体験会が奏功し、販売は好調に推移しています。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

経営トピックス・ハイライト（モビリティ・DXセグメント）

当社グループは、2026年3月期において、全国26の自治体における自動運転社会実装事業に参画いたしました。
2027年3月期においても、自動運転の社会実装を後押しする政府方針のもと、各地の取り組みが進展する中、自治体および関係事業者と連携し、社会実装に向けた取り組みに参画してまいります。

● 【長野県軽井沢町】自動運転バス運行事業を受託

当社およびA-Drive株式会社は、2026年9月6日より長野県軽井沢町で開始された自動運転バス運行事業を受託し、走行を支援しています。
本事業は、国土交通省「交通空白」解消リ・デザイン全面展開プロジェクト(交通空白解消タイプ)の採択事業であり、軽井沢町、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社西武ホールディングスを事業主体として実施するものです。
地域公共交通の課題解決に向け、自動運転レベル4の社会実装を見据えた技術検証や運用検討を進める取り組みです。

当社は、高精度三次元地図データの作成・提供や技術支援を担い、A-Drive株式会社は、事業全体の実装業務や事業検証を担当しています。
▷ 詳細はこちら

● 【福岡県古賀市】自動運転バス事業に参画～「自動運転のるーと」一般試乗を実施～

当社およびA-Drive株式会社は、福岡県古賀市の自動運転バス事業に参画しております。本事業は、古賀市が主体となり、地域の交通事業者と連携した自動運転バスの運行を通じ、持続可能な地域交通ネットワークの確保を目指して行われるものです。
2026年10月から11月にかけて一般試乗が実施されるほか、従来のルールベースによる走行とは異なるAIベースによる走行を組み込む取り組みを進め、2026年12月から2027年1月にかけては、AI学習走行が予定されています。

当社は、自動運転実証の実施および高精度三次元地図の作成・提供を行い、A-Drive株式会社は、実証全体の統括を担っています。
▷ 詳細はこちら

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

経営トピックス・ハイライト（モビリティ・DXセグメント）

● 自動運転の社会実装を牽引する一気通貫ソリューション：『実証』から『実装』への変革

当社グループは、全国190ヵ所以上の実証実験で培ってきたノウハウを基盤に、自治体や企業の自動運転社会実装をトータルで支えるビジネスモデルへと進化させています。
導入・実装・保守・サービス運用まで一気通貫で提供し、多様なステークホルダーとの強固なパートナーシップを通して社会実装を加速。
持続可能な未来のモビリティ社会を支える中核企業として、成長を追求してまいります。

A-Drive

自動運転 ワンストップサービス およびソリューション提供

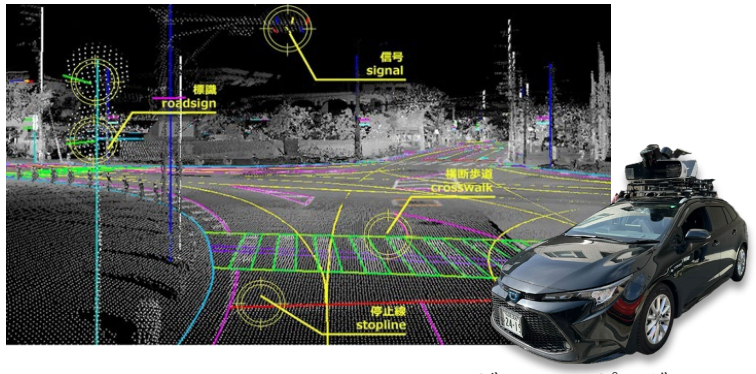
- 実証計画策定
- 運行システムやインフラ支援のコーディネート
- パートナー企業との連携



AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD.

自動運転に係る技術的支援

- 自動運転ソフトウェア開発
- 高精度三次元地図
- 自動運転車両構築、販売



MMS(モービル・マッピング・システム)

AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD. A-Drive

実装後の支援サービス提供

- 車両保守
- 遠隔監視の運行支援
- メンテナンスサービス



Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

経営トピックス・ハイライト（モビリティ・DXセグメント）

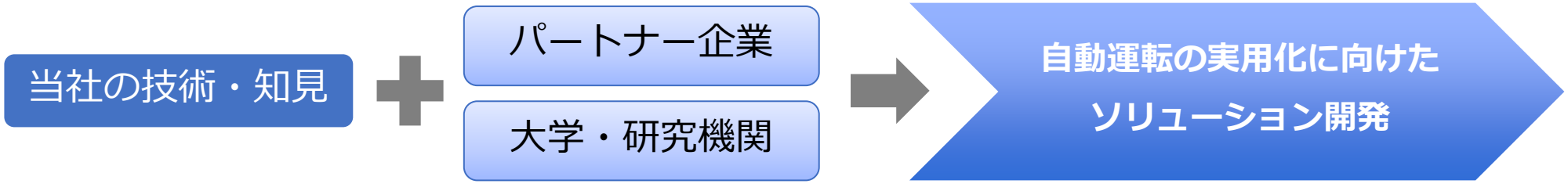
● 株式会社ミックウェアとの資本業務提携契約

当社は、2026年7月、株式会社ミックウェア(本社：神戸市中央区、代表取締役社長：鳴島 健二、以下「ミックウェア」)と、
資本業務提携契約を締結しました。
ミックウェアは、自動車やモビリティ分野を中心にソフトウェア開発サービスおよび革新的な ITソリューションを提供しており、
2026年5月には米国 Nasdaq Global Market への上場を果たしています。

当社のモビリティ・DX セグメントとミックウェアの事業は親和性が高く、協業により両社の強みを活かした新たなソリューションの
開発・展開が期待できることから、資本業務提携契約を締結することにいたしました。
なお、提携事業の詳細につきましては、両者間で具体的な協議・検討を進めています。
▷ 詳細はこちら

● 多様なパートナーとの共創によるソリューション開発

当社は、技術・サービスパートナー、大学・研究機関の多様なステークホルダーと連携し、自動運転技術の実用化を支えるソリューション開発に取り組んでいます。高精度三次元地図、遠隔監視、運行支援サービスの領域において、当社の技術・知見とパートナーの持つ専門性を組み合わせ、幅広いソリューション開発を推進しています。
今後も、パートナー企業・団体との共創を通じて事業領域を拡大し、企業価値の向上を目指します。



Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

経営トピックス・ハイライト（モビリティ・DXセグメント）

● DX部門 デジタルツイン基盤「DEXIO™(デクシオ)」

都市モデルや点群データの三次元情報をWebブラウザ上で可視化し、多様なデータを一元管理・活用できるデジタルツイン基盤**「DEXIO™」**を2026年6月にリリースしました。

「DEXIO™」は、行政データや点群データ、都市モデルの情報を三次元のデジタルツイン上に統合し、行政業務、インフラ管理、都市計画における直感的な情報管理を実現し、業務効率化に貢献します。
住民の声をリアルタイムに収集できる「住民投稿システム」や、道路の点検・補修履歴や維持管理状況を一元管理する「道路維持管理システム」を実装しています。
「住民投稿システム」は、株式会社ベガシステムと共同開発しました。双方が長野県塩尻市の塩尻インキュベーションプラザに拠点を置くことを契機に連携を開始しました。また、塩尻振興公社および塩尻市から、自治体の視点に基づく助言や検証データ提供の支援を受けています。

今後も、協力企業や自治体と連携しながら、地域課題や自治体・企業の多様なニーズに応えるサービス開発を推進してまいります。

DEXIO™



【DEXIO™　浸水シミュレーション】

地図データ出典：© 2026 Microsoft, Maxar, CNES/Airbus DS/Earthstar Geographics SIO, 国土交通省 Project PLATEAU

▽製品の詳細は、こちらをご覧ください。
「DEXIO™」製品サービスサイト

▽開発者が語る「DEXIO™」挑戦と進化のストーリーは、こちらをご覧ください。
「三次元デジタルツインで都市の意思決定を加速する――新プラットフォーム「DEXIO™」開発に込めた挑戦」

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

経営トピックス・ハイライト

● 令和8年熊本地震に伴う高精度三次元地図データの無償提供

2026年7月28日に発生した「令和8年熊本地震」により生じた被害の早期復旧・復興を支援するため、当社が保有する熊本県内の高精度三次元地図データを、関係機関に無償で提供しています。

【提供データ】
・2022年までに当社が独自に計測した熊本県内のMMS計測データです。
・当社およびジオテクノロジーズ株式会社が共同で保有する、高速道路・自動車専用道路の図化データ（2024年計測分まで）

建設コンサルタントをはじめ、九州地方の企業・団体から多数のお問い合わせをいただいており、利用目的や条件に応じて必要なデータを提供しました。

● 大雨の災害による被害を受けたお客様への製品・機器支援

近年、全国各地で記録的な大雨による甚大な被害が多発しています。
当社は、大雨をはじめとする自然災害により、当社ソフトウェアの部品（HASPキー、メディア）、パソコン、測量機器のハードウェアに被害を受けられたお客様に対し、状況を確認のうえ、交換・点検・修理の支援を行っています。

当社は今後も、保有する地理空間情報および製品・サービスを通じて、被災地の復旧・復興支援ならびに国土強靭化、安心・安全なインフラ整備に貢献してまいります。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

経営トピックス・ハイライト（広報活動）

● 「ビジョン図鑑」に代表加藤のインタビュー記事が掲載されました

学生主体で運営され、経営者の想いや価値観を発信するWebメディア「ビジョン図鑑」に、代表取締役社長 ・加藤のインタビュー記事が掲載されました。

記事では、これまでの歩みを振り返り、経営の原点と組織づくりについて、事業の未来像、求める人物像をお話ししております。

▽掲載記事はこちら
「素直で正直な人」と働きたい ――アイサンテクノロジー4代目社長が語る、営業一筋からの経営

● 金沢シーサイドFM「社長！あなたの会社教えてください。」に代表加藤が出演しました



金沢シーサイドFMの番組「社長！あなたの会社教えてください。」に代表取締役社長・加藤が出演しました。同番組は、様々な企業の経営者をゲストに迎え、事業内容や将来のビジョン、経営に対する想いに迫る番組です。

当社の事業紹介をはじめ、地域社会の課題解決に向けた自動運転の社会実装や「Geo&Mobility Company」として持続的に成長していく将来展望についてお話ししています。
出演内容は、YouTubeおよびSpotifyのポッドキャストにてご視聴いただけます。

▽番組の視聴はこちら
→ YouTubeで視聴する
→ Spotifyで聴く

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

株主還元・IR活動報告

【IRイベント】

当社は、2026年8月25日(火)に名古屋・中電ホールで開催された名古屋証券取引所主催のIRイベント「株式投資サマーセミナー2026」に参加し、代表取締役社長・加藤が登壇し会社説明会を開催いたしました。当日は、当社事業に関する多数の質問をお寄せいただきました。多くの個人投資家の皆様にご来場いただき、厚く御礼申し上げます。 ▷ 当日の質疑応答やアーカイブ動画はこちら



株式投資サマーセミナーの様子

また、12月4日(金)・5日(土)に名古屋・吹上ホールにて開催予定の**「名証IRエキスポ2026」に今年も出展**いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。
▷ 「名証IRエキスポ2026」出展のお知らせ

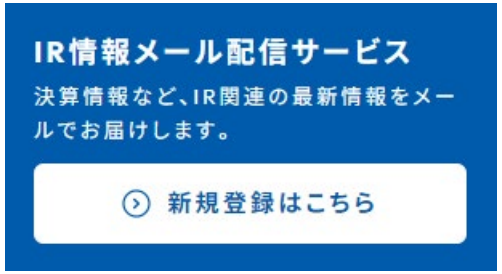
【株主・投資家の皆様への情報発信】

● 「QUICK & NOMURA コーポレート・リサーチ」による弊社レポート

株式会社QUICK、野村インベスター・リレーションズ株式会社および野村證券株式会社が共同で実施しているスポンサード・リサーチ事業（QUICK & NOMURA コーポレート・リサーチ）による弊社レポートについて、最新の決算内容を反映し、随時配信されております。
▷ 最新版レポートはこちら

● IR情報配信メールマガジンおよびSNSアカウント

▼メールマガジン新規登録はこちらをクリック、またはQRコードよりお願いします。



X（旧Twitter）
@AISAN_CORP

Instagram
@AISANTEC_IR

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

株式分割について

2026年10月1日を効力発生日として株式分割を実施しております。

▷ 株式分割に関する詳細ページはこちら

株式分割の目的

株式分割による投資単位の水準の引き下げにより、個人投資家がより投資しやすい環境を整え、当社株式の 「流動性の向上」及び「投資家層のさらなる拡大」を図ることを目的としています。

株式分割の内容

〇分割の方法

2026年９月30日（水）最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式１株につき、３株の割合をもって分割いたします。

〇分割の日程

① 基準日公告日	2026年９月11日（金）
② 分割の基準日	2026年９月30日（水）
③ 分割の効力発生日	2026年10月１日（木）

※今回の株式分割に際しまして、資本金の額に変更はありません。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

株主還元・IR活動報告

【配当方針】

当社は、株主の皆様への利益還元を**経営における最重要課題として位置づけており、**
累進的な配当方針として、**株主資本配当率（DOE）を導入しております。**
今後は、単年度の業績変動の影響を受けにくい株主資本配当率（DOE）を基準に、「株主様に対して、安定的かつ継続的な配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させる」ことを基本方針といたします。**配当金については、当面の間、株主資本配当率（DOE）３%前後を目標といたします。**

● 配当政策

DOE（株主資本配当率）３%前後を目標とした、安定的な株主還元に取り組みます。

● 第57期（当期）の期末配当予想について

2026年８月７日に開示しております通り、
2027年３月期の配当予想額を当社普通株式１株につき３株の割合をもって分割することから
１株当たりの期末配当予想を37円から15円に修正いたします。
これにより、**株式分割前に換算した１株当たりの期末予想は45円**となり、
8円の増配（前期比8円増配）となります。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

株主還元・IR活動報告

【株主優待制度】

▷ 株主優待に関する詳細ページはこちら

対象となる株主様

毎年３月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、300株（3単元）以上の当社株式を1年以上継続して保有されている株主様を対象といたします。

ご優待内容

「継続保有最低株式数」と「継続保有期間」の条件を同時に満たされた株主様に対して、
デジタルギフトカード「選べるe-GIFT」（※）を進呈いたします。

※「選べるe-GIFT」とは、全日空商事株式会社が提供するデジタルギフトサービスです。
スマートフォンひとつで、誰にでも簡単にお好きなデジタルギフトをお選びいただけます。
ただし、「選べるe-GIFT」の提供するデジタルギフトのうち、一部交換できないギフトもございます。

継続保有最低株式数	継続保有期間	優待内容
3,000株以上	3年以上	「選べるe-GIFT」5,000円分
300株以上	2年以上	「選べるe-GIFT」1,000円分
300株以上	1年以上2年未満	「選べるe-GIFT」　500円分

株主優待品の贈呈時期

各基準日（毎年３月31日）から３ヵ月以内を目途に発送いたします。なお、発送時期は変更となる場合がございます。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

株価等企業価値向上に向けた当社の考え方

■ 株価に対する考え

- 株価は、市場における投資家の皆様の評価によって形成されるものであり、その適正性について当社が直接言及するものではありませんが、企業価値の向上に向けては全力を尽くしてまいります。

- 当社株式は株主数が少ないこともあり、株価が乱高下しやすい環境にあることも考えられますが、投資家の皆様向けのIR活動等を、積極的に実施するなど、個人株主の増加に向けた施策を講じております。

■ 出来高に対する考え

- 現在の当社株式の出来高が低いことは、重要な経営課題の一つとして認識しております。
  当社グループの売上高および当社株式の時価総額を考慮すると、当面は個人投資家の皆様へのアプローチが重要であると考えております。
  その一環として、個人投資家比率の高い名古屋証券取引所への重複上場、および自己株式の取得を実施いたしました。

- 会社規模の拡大とあわせて、個人投資家の皆様への情報発信を強化すべく、会社説明会の開催やIRイベントへの積極的な参加等に取り組みPR強化に努めることで、出来高の拡大を目指してまいります。

■ まとめ

- 当社取締役会では、日々の出来高状況を含め、株価に対して常に注視し、重要な経営課題の一つとして議論を重ねております。
  一方で、中期経営計画でもお伝えしておりますとおり、公共/モビリティ・DXの両セグメントにおいて、人財を含めた積極的な投資を行うことが、企業規模・収益の拡大に繋がるものと考えておりますが、これらの投資が収益に繋がるには、相応の時間を要するものと判断しております。

- 上記のIR活動の強化は引き続き実施してまいりますが、現時点では事業投資を優先的に実施する方針とし、その結果として得られる収益を株主の皆様への配当という形で還元することを目指しております。

- 以上に鑑み、2030年の目指す姿の実現に向け、中期経営計画の達成を通じて企業価値の向上に邁進してまいりますので、株主様、投資家の皆様におかれましては、長期的視点でのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

サステナビリティ・DX・社会貢献

企業におけるサステナビリティの実現は、2015年に国連サミットで採択された「SDGs」の理念浸透とともに、グローバルな注目を集めています。その実現に向けてはCSRを基盤としたESG経営が欠かせません。

以上を受け、サステナビリティの実現に向け、当社グループの社是の下、その取り組みに努める所存です。
詳細については、当社HPに記載の「**サステナビリティポリシー**」をご確認ください。

社是

知恵　それは無限の資産

実行　知恵は実行して実を結ぶ

貢献　実を結んで社会に貢献

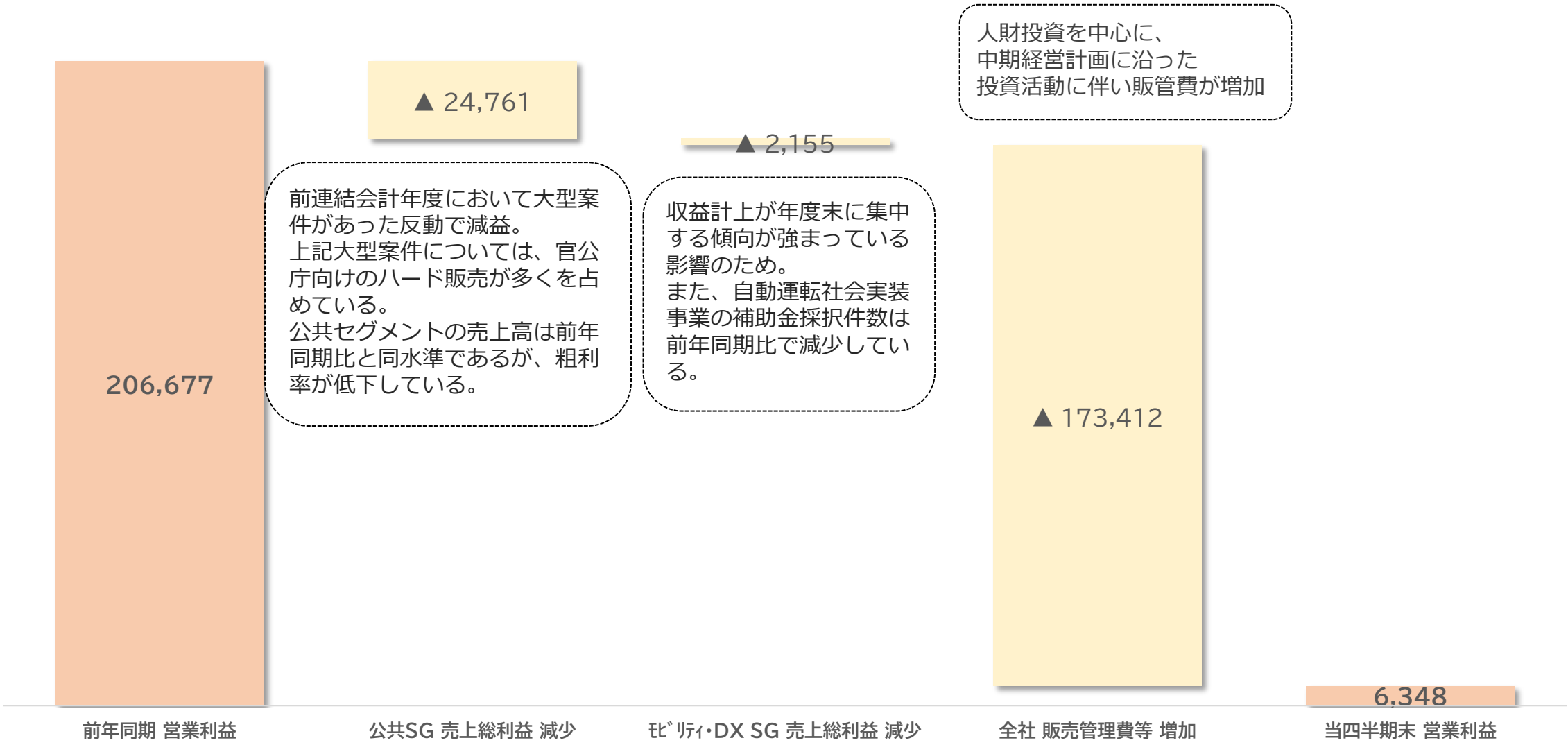
経済開発	• 社会インフラの基礎技術となる測量業務を最大に効率化するソリューションの創造と提案に努めます。 • 来たる自動運転社会に向けた「安心・安全」を担う高精度三次元地図データの生成技術の研磨を進めます。 • 高精度位置情報から地理空間情報までを包括したイノベーションを創造していきます。
社会開発	• 少子高齢化時代に沿った職場環境、人事制度を構築します。 • 最新の測量技術に係る基礎研究を進めます。 • DXやICTに係るソリューションによって、業界の生産性向上を助成します。
環境保護	• カーボンゼロ社会に適応する働き方を追求します。 • 業務に係るDX推進から、ペーパレス環境を目指します。 • 環境保護への意識浸透を進めます。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

参考資料 – 営業利益増減分析

（単位：千円）

営業利益増減分析

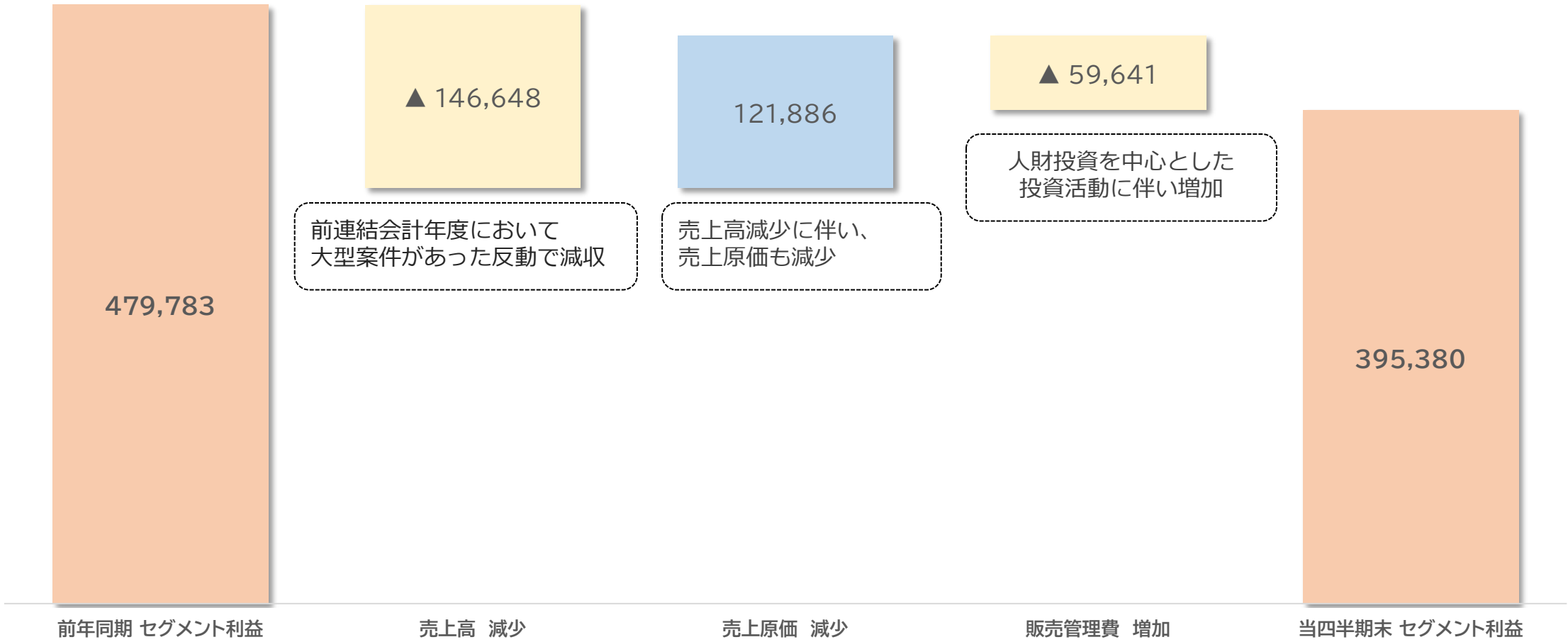


Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

参考資料 – 公共セグメント　利益増減分析

（単位：千円）

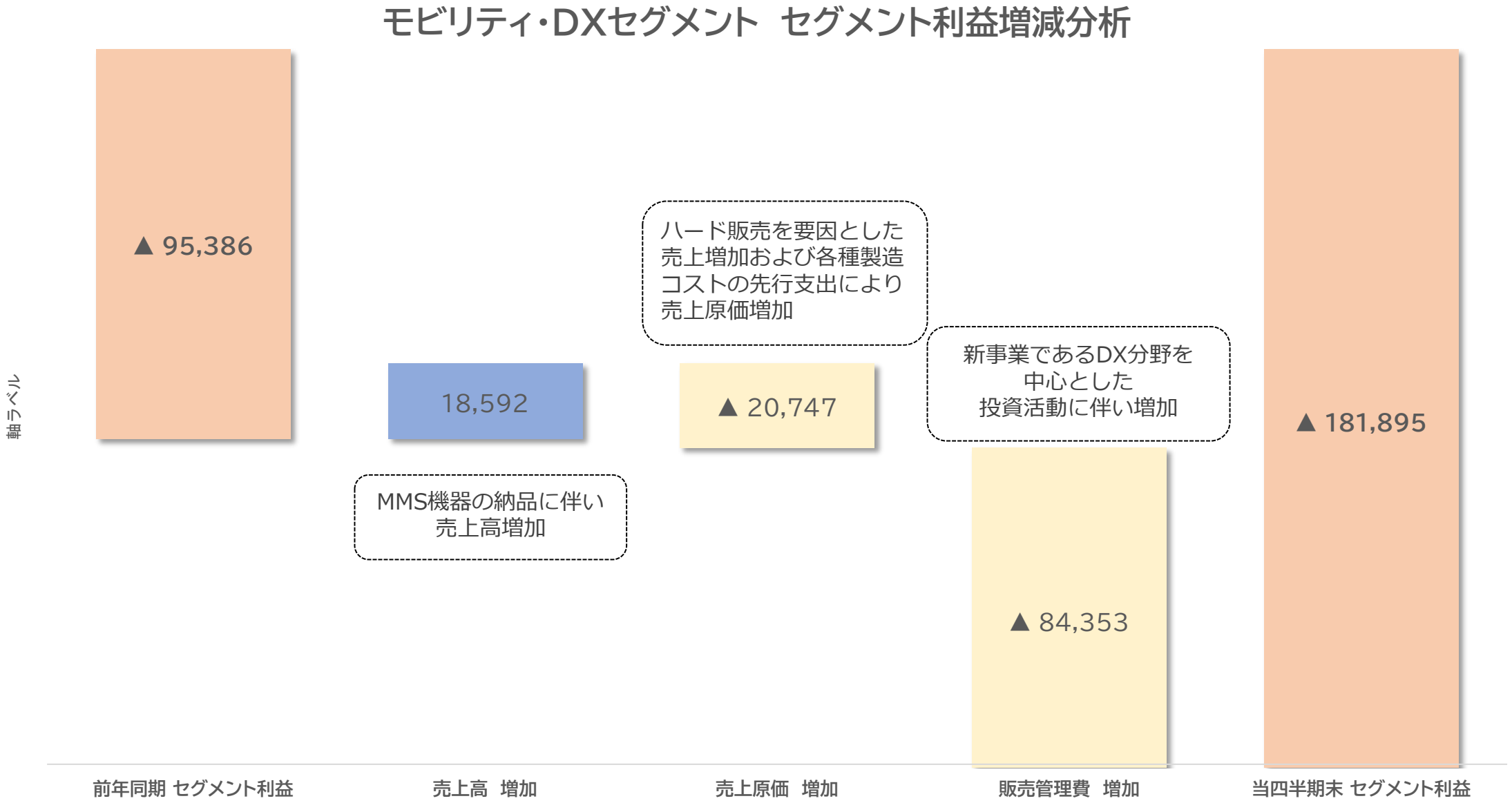
公共セグメント　セグメント利益増減分析



Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

参考資料 – モビリティ・DXセグメント　利益増減分析

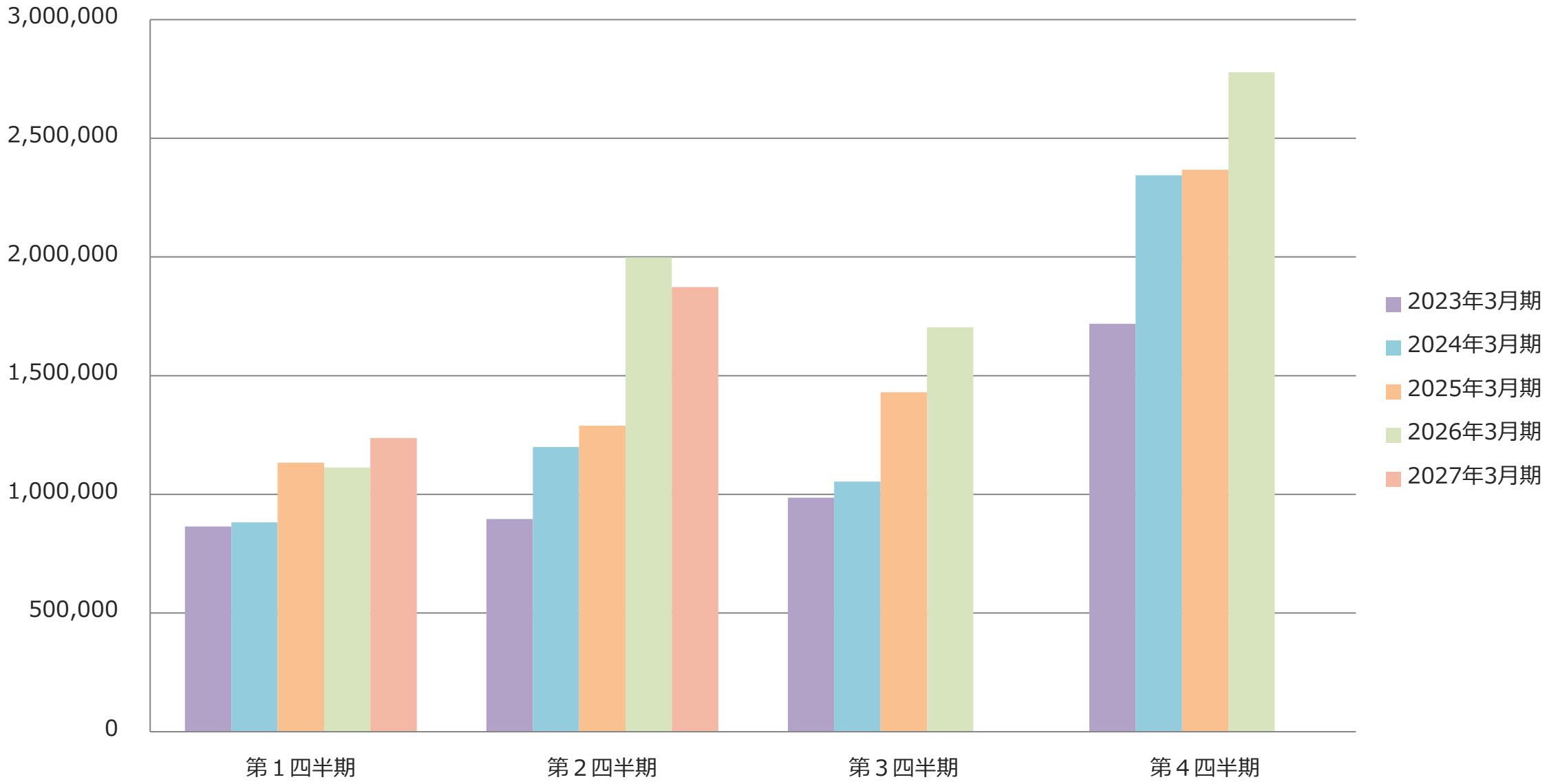
（単位：千円）



Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

参考資料 - 四半期会計期間　売上高推移（５期比較）

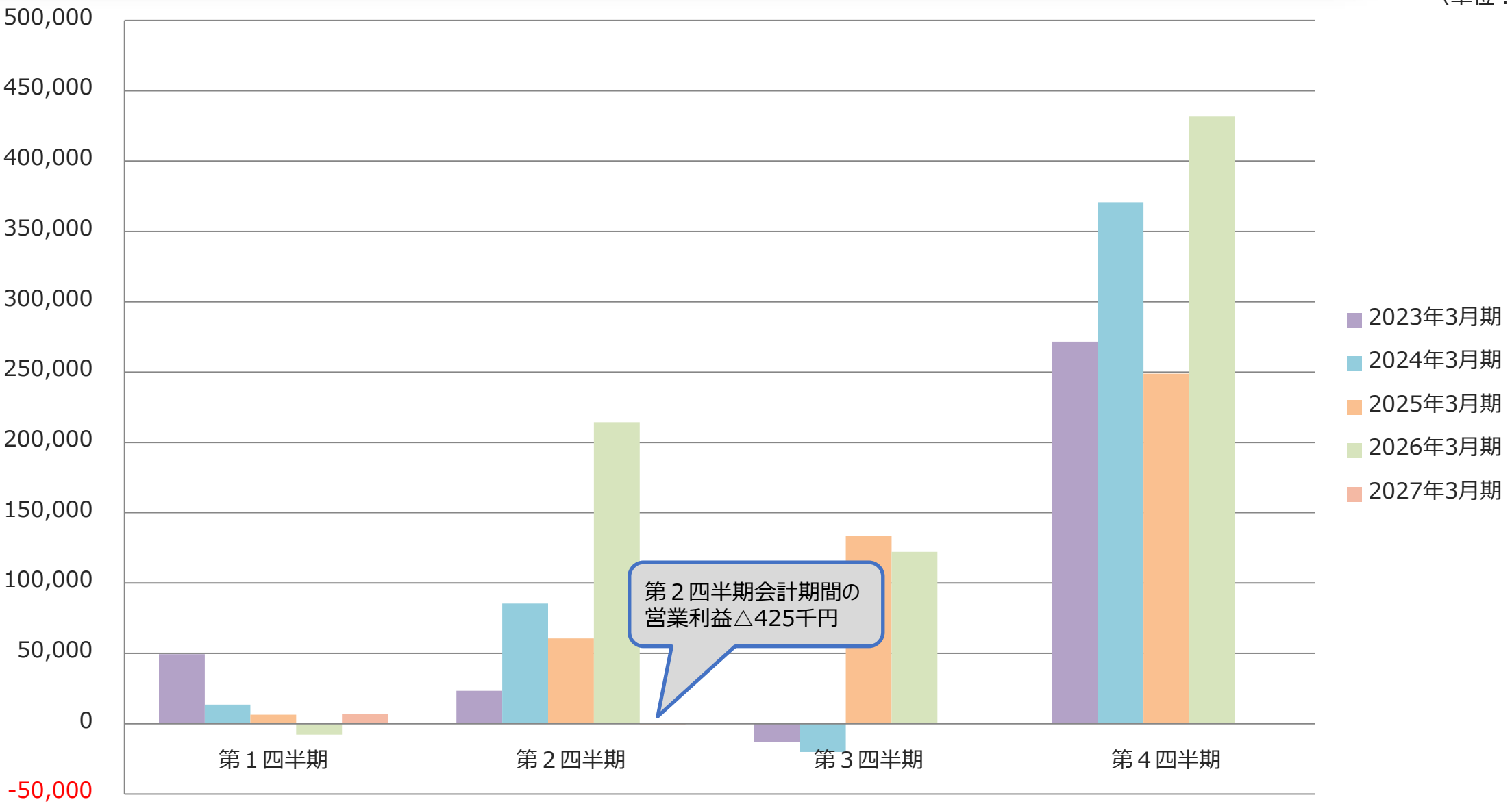
（単位：千円）



Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

参考資料 - 四半期会計期間　営業利益推移（５期比較）

（単位：千円）



Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

参考資料 – Q&A

Q1. 業績について、前期の好決算は一過性のものか？

一過性ではありません。増収増益のトレンドは継続予定です。改正法・国策に裏打ちされた確実な需要を捉えた成果であり、今期も過去最高の売上・利益を計画しています。

Q2. 配当方針について、新しい配当目標「DOE(株主資本配当率)3%」の導入理由は？

業績のブレに左右されない「安定的な株主還元」をお約束するためです。従来の利益基準（配当性向）だけでなく、蓄積した自己資金を基準とするDOEを導入することで、中長期にわたって減配リスクの少ない、一貫した株主還元を実行します。

Q3. 短期借入金が減少し自己資本比率が改善している事が伺えますが何故でしょうか？

財務は極めて健全です。大型案件に備え、前向きな資金確保の意味合いでプロジェクト融資を前期は実施しておりました。プロジェクトの資金回収に伴い借入金は返済しております。自己資本比率も一般的な安全水準を大きく上回っています。

Q4. モビリティ・DX事業の投資はいつ頃、利益化するのか？

今期（2027年3月期）より本格的な回収期へ移行します。先行投資（人財・開発）の戦力化は今期すでに業績に貢献しています。今後は自動運転車両の販売だけでなく、運用後のサポート（ストック収入）による継続的な収益基盤を確立します。

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.

問い合わせ先

本資料に記載された情報や業績予想等の将来見通しは、資料作成現時点において入手可能な情報及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されております。今後、経営環境の変化等の事由により実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

アイサンテクノロジー株式会社　経営管理本部

お問い合わせフォーム ： ✉お問い合わせ

※以下QRコードからアイサンテクノロジーWEBサイトにアクセスできます

Copyright © 2026 Aisantechnology All Rights Reserved.


AISAN
TECHNOLOGY CO.,LTD.